

## I C T活用工事（河川浚渫）積算要領

## 1. 積算基準に対する補正

「土木工事標準積算基準（河川編）」第Ⅲ編第1章河川海岸④－2 バックホウ浚渫の記述（以下「積算基準」とする）が適用される浚渫工について、I C T活用工事を適用する場合は、以下の項目について補正する。

## 2. 浚渫能力の補正

積算基準の「4. 浚渫船の運転、4－1 浚渫能力（単位時間当りの浚渫量）」の記述により算出されるQ（バックホウ浚渫船1時間当たり浚渫量）については、これに1.05を乗じる。

## 3. 単価の補正

積算基準の「8. 単価表、（1）浚渫船（〇〇m<sup>3</sup>）運転1日あたりの単価表」に対して、建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用としての「I C T建設機械経費加算額」を以下のとおり加算する。

名称	規格	単位	数量	適用
I C T建設機械経費加算額		供用日	1.51	賃料

「I C T建設機械経費加算額」は以下のとおりとする。

## （1）I C T建設機械経費加算額

対象建設機械：バックホウ

加算額：41,000円／日

## 4. その他 I C T建設機械経費等

I C T建設機械経費等として、以下の各経費を、共通仮設費の技術管理費に計上する。

## 4－1 保守点検

I C T建設機械の保守点検に要する費用は、次式により計上するものとする。

保守点検費 = 土木一般世話役(円) × 0.05(人/日) × 浚渫作業日数

## 4－2 システム初期費

I C T施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。

## （1）対象機械：バックホウ

費用：1,200,000 円／式

## 4－3 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用

3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合に計上するものとし、必要額を適正に積み上げるものとする。出来形管理を3次元で実施する場合は、以下の費用を一律で加算する。

## （1）3次元出来形管理資料作成費用

1,200,000 円／式